

「クリエイターの話 ～私のイメージの源泉」

スペースデザイン部会員 すず き み と 鈴木 未都

『「構成」との出会いと変遷』

私は紙を使った作品を作り始めて30年位になります。私の作品は、大きさと色を少しずつ変えて切り抜いたたくさんの紙の半円を、パネルに間隔を開けながら垂直に立たせて貼り付け、その連なりで全体の形を作っていきます。設計図を作り、一日に出来る作業量を計算し、時間と戦いながら夜中にひたすら作業していくのですが、全体像が見えてきた時のワクワクする気持ちは他に変えがたいと思っています。

この手法に取り組むようになった最初のきっかけは、高校生の時でした。当時の私はデザイン科がある高校にたまたま入学できたものの、新しい環境と同級生たちが作るきらめく作品に圧倒されて、茫然としていました。授業で幾何学的な図形を法則的に変化させて作る画面構成を教わった時、ようやく私でも美しい作品を作ることが出来る方法があるのだと救いのように思えたのでした。また、デザイン科の先輩方が残していった見本作品の仕上げの完璧さにも憧れました。

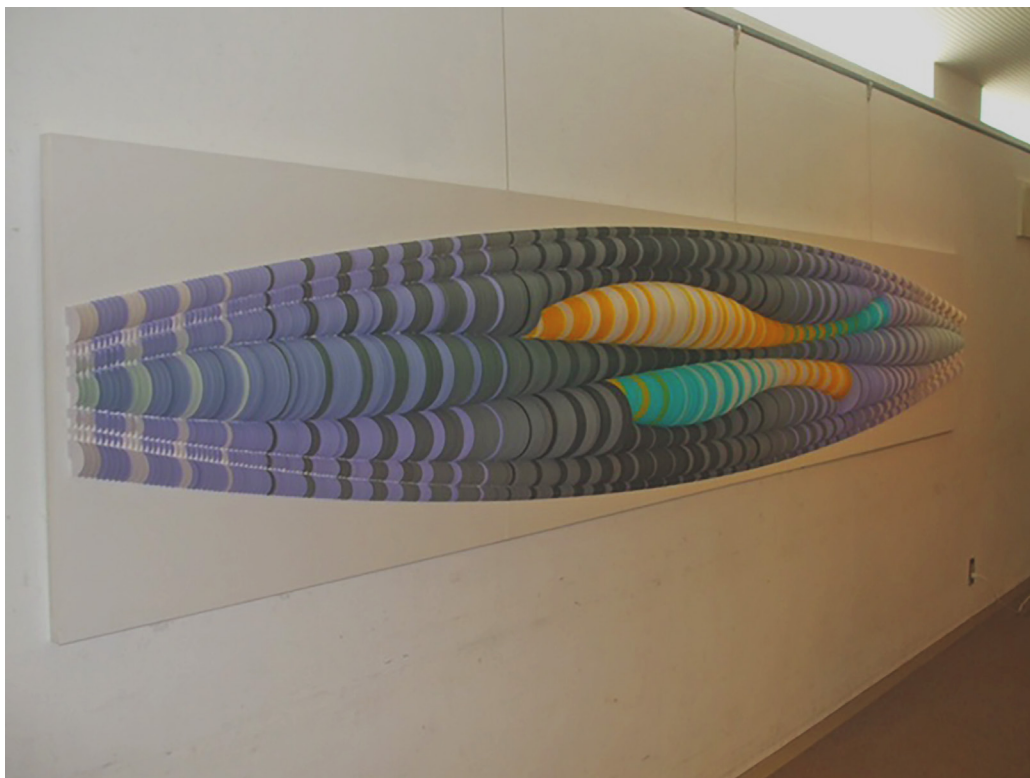
大学卒業と同時に同窓生達のグループ展に誘われたのは、作品作りを続けられた大きな要因でした。仕事をしながら作品を作り続けるのは気力と体力を維持するのが大変で、やめてしまおうかと思う事もありましたが、気の合う仲間と楽しく続けているうちに、作品の方向性や作業を進める手順がだんだんと整理されていきました。

新制作展に作品を出してみようと決心したのは、20年近く続けていたこのグループ展に、いつも見に来てくれていた恩師の勧めがあったからでした。公募展に自分の作品を出すなど、どこか遠い世界の話のようで、ほとんど考えたこともありませんでしたので、恩師からの勧めがあっても、しばらくぐずぐずと悩んでいました。しかし、今、この機会にやってみなければと勇気を振り絞って挑戦しました。初入選と同時に新作家賞に選ばれた時は本当に驚きました。同時に、長く続けてきた自分の創作の中に、見知らぬ誰かにも届くものが確かにあるらしいと、視界が開けたような気持ちでした。

素材に紙を使ったのは、手に入りやすく、色も厚さもマチエールもバリエーションが豊富な上に、加工しやすかったからでした。何より紙が光を受けてできる陰影が魅力的で、この素材感が同じ形が連続する無機質な空間に柔らかな空気を作りだしていると思います。

作品の色合いは、形と陰影が効果的に見えるように考えます。私が暮らしている地域は山と川に囲まれているので、風に揺れる木々や野に咲く花、山の間から見える空の色を思い浮かべている事が多いです。

私の創作を支えている源は、最初はあやふやだった創作の楽しみを、気づかせ、支えあいながら共有できた人達がいたこと、発表出来る場がいつもあったことだと思います。自分と家族の生活を円滑に維持しながら創作を続けていくことは、時間のやりくりや体力の配分に頭を悩ませますが、反対に忙しい日常の中に喜びを見出せる支えにもなっています。思いがけず自分の一部になったこの創作活動を、できる限り続けていきたいと思っています。





鈴木 未都 プロフィール

Suzuki Mito

1970年 東京生まれ
1989年 都立工芸高等学校デザイン科卒業
1992年 東京純心女子短期大学 美術科専攻科卒業
1995年 武蔵野美術大学 造形学部 基礎デザイン学科卒業
1995年より、ほぼ毎年イマキュレートハート作品展に出品
(東京純心女子短期大学・東京純心大学同窓生による作品展)
第77回、第86回新制作展新作家賞受賞



○SD 通信 Vol. 73『クリエイターの話 ～私のイメージの源泉』鈴木未都 編は如何でしたか。色彩と曲線が連続し、漸次変化していく表現はいつまでも目で追いたくなる魅力的な造形ですが、それらは全て1枚ずつ丁寧にカットした紙素材で構成されています。テーマにかけて作る大変さと喜びがそこにあることが伝わってきます。素材や色合いのこと、創作の源について、真摯に語っていただきありがとうございました。皆さんの感想も是非お聞かせください。

◆鈴木未都さんの情報は新制作協会ホームページにも掲載されています。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/33823>

◆SD 通信のこれまでのバックナンバーは協会ホームページに掲載されています。

過去に配信したシリーズ「私を創ってくれた3つの作品」のバックナンバー (Vol.1～35) もご覧いただけます。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/26661>

◆第88回新制作展のSD部会場の様子が見れる <バーチャルパノラマツアー>

下記のアドレスからアクセスください。

→ <https://r93840544.theta360.biz/t/e3b09dbc-9430-11f0-b697-060182f6995f-1>

◆今年2月に建築会館ギャラリーで開催された『88th 新制作展 スペースデザイン部受賞作家展』の記録はこちらでご覧いただけます。

→ https://www.shinseisaku.net/wp/wp-content/uploads/2025/08/202688th_jyusyo-artist.pdf

合わせて<バーチャルパノラマツアー>もご覧ください。

→ <https://r93840544.theta360.biz/t/9d6c394e-fdb0-11f0-9f86-0a7fdda087bb-1>

◆新制作協会ホームページはこちらから。

新制作協会公式Instagram・新制作協会広報フェイスブックページが開設されました。TOPICS からSD部のホームページやSD部公式Facebookにもアクセスできます。

→ <https://www.shinseisaku.net/>